

見積参加者選考調書（特定随意契約用）

調達件名	インターネット接続系インシデント管理システム基本設計・開発業務
発注課	システム調整課
選定事業者	札幌総合情報センター株式会社
随意契約の理由（相手方を特定した理由を含む。） 本業務は、職員向けデジタルサポートデスクにおいて現在利用中のチケット管理システム（Zendesk）が令和8年12月28日をもってライセンス終了を迎えることに伴い、これに先立ち実施した「インシデント管理最適化要件分析業務」の分析成果を具現化し、後継となる新インシデント管理システムの基本設計・プログラム開発、インフラ基盤構築、およびこれまでに蓄積された約33,000件におよぶ膨大な過去データの安全な段階的移行を一意かつ確実に実施する業務である。 履行にあたっては現在運用中の「デジタルサポートデスク運用保守業務」の契約期間と密に並行し、ヘルプデスク窓口から専門保守に至るインシデント対応の運用プロセスを無停止で維持しつつ実際の切り替え時における全庁的な運用の混乱を確実に回避すること、現行システムに蓄積された複雑なチケットのデータ構造を詳細に把握した上でデータ欠損のない移行ツールを開発・検証すること、さらには既存システム（Redmine等）の技術的仕様やインフラ構成との緊密な整合性を図り、本市が求める高いシステム品質と成果物間の整合性を確保して遂行することが必要不可欠である。 当該事業者は現行の「デジタルサポートデスク運用保守業務」の受託者としてインシデント対応の実務やデータ構造を完全に把握しているだけでなく、前調達である「インシデント管理最適化要件分析業務」を本市と緊密に実施してきたことから、新システムのあるべき姿や具体的な移行要件を最も深く熟知し、かつ本市共通の開発標準を遵守した設計・開発および移行リハーサル等のすべてをライセンス期限までに確実に完遂できる唯一の事業者である。 したがって、当該事業者以外に本業務を履行できる事業者はいない。	
根拠法令	地方自治法施行令第167条の2第1項第2号